

大 綱 主 要 項 目		スマート自治体の推進				
具 体 的 な 項 目		各種情報システムの運用・構築				
実 施 計 画 項 目		緊急通報システムの運用				
担 当 課		高齢福祉課	関係課	デジタル戦略課		
No. V-3-(2)		令和 3	4	5	6	7
実施 年度	実施計画	○	○	○	○	○
	効果又は 数値目標	累計設置台数 5 0 0 台	累計設置台数 5 4 0 台	累計設置台数 5 8 0 台	累計設置台数 6 2 0 台	累計設置台数 6 6 0 台
進捗 状況	実績	S	S	S		
	効果又は 数値実績	累計設置台数 5 4 2 台	累計設置台数 5 8 4 台	累計設置台数 6 3 8 台		
現状と課題						
・急速に高齢化が進行する中、一人暮らし高齢者等の緊急事態に対応するため、平成5年度から緊急通報システム整備事業を実施している。 ・当該システムは、当初、電話回線を用いて消防署へ通報するシステムであったものを、平成26年度からインターネット回線により警備会社へ通報するシステムに移行し、運用している。令和5年度11月以降使用機種の変更に伴い、新規設置分からインターネット回線無の機種に変更している。 ・適切なシステム利用を推進するために、機器の操作方法、システムの仕組み等について、高齢者への丁寧な説明が必要である						
課題解決に向けた方策						
・該当者となる一人暮らし高齢者等の緊急事態における効果的な対応が可能となるよう、真岡市緊急通報システム事業実施要綱に基づき設置を進めるとともに、機器の操作説明や安否確認を兼ねて、警備会社による月1回の定期訪問を実施する。						
具体的な取組内容						
・緊急時の迅速な対応のために、緊急時の協力者を3人程度確保してもらう。 ・システムを活用した高齢者の常時見守りに加え、月1回の定期訪問を実施し、対面によって高齢者の安否を確認するとともに、安心を提供する。 ・平成30年度まで数値目標を年度末の設置台数としていたが、各年度内の新規設置・撤去台数も高齢者安否確認などに寄与してきたことを踏まえ、平成元年以降の数値目標には累積台数を用いることとした。 【令和5年度】 ・民生委員の研修において制度を周知し、必要な方への設置推進を行った。 ・設置者の緊急時に備え、救急医療情報キットの配布を行った。 ・年度末累計台数 638台（新規設置台数 54台） ＊参考：令和4年度末累計設置台数 584台						
実績考察（理由、改善すべき点等）						
【令和5年度】 ・実績は見込を上回る結果となっている。年度内の設置申請者には設置が完了している。新規申請数は、前年度より8件増となった。一人暮らし高齢者等の不安軽減を図るためにも、必要な方に設置が完了できるよう取り組む必要がある。						
考察を踏まえての今後の取組方針						
【令和6年度】 ・今後も設置業者と連携し、迅速な対応ができるよう随時調整していく。 ・高齢者実態調査や日頃の安否確認・状況把握等を通じ該当者を把握できるよう、高齢者福祉の支援者（民生委員・包括支援センター・ケアマネージャー等）と連携や各機会を通じて情報提供を行う。また、各地域や支援者の研修などで周知を行う。 ・緊急時の備えとして、高齢者世帯に救急医療キットの配布を推進する。 ・なお、緊急通報システムが必要な方を把握し、早急に設置を行う仕組みが確立されていることから、実施計画書による進捗管理は終了とする。						